

町制施行50周年記念 児童・生徒作文コンクール

10月17日(水)、鳥見山体育館で行われた鏡石町制施行50周年記念式典で児童・生徒作文コンクール特選受賞作品が発表されました。

この作文は、鏡石町が町制施行50周年を迎えるにあたり、次世代を担う小中学生を対象に、「ふるさと鏡石町の復興・鏡石町の将来像」をテーマに募集を行ったものです。

特選を受賞したのは、小林沙矢さん(鏡石二小6年)、柳沼結衣さん(鏡石中2年)の2人です。

今月号では、特選を受賞し、記念式典で作文を発表したお二人の作品をご紹介します。



▲特選を受賞した小林沙矢さん(二小6年)

50歳を迎えた鏡石町

鏡石町立第二小学校6年 小林沙矢

わたしの住んでいる鏡石町は、今年町制施行五十周年を迎えました。文科省唱歌「牧場の朝」のモデルとなった岩瀬牧場があり、緑に囲まれた美しい町です。しかし、去年の東日本大震災で大きな被害を受けました。たくさんの方の建物や道路がこわれ、町の自まんの鳥見山公園の駐車場は、今でもたくさんの方がけがの山になっています。震災があつてから、わたしは、将来どのような鏡石町になってほしいかという考えようになりました。一番に願うことは、大人も子どもも安心して住める町になってほしいことです。大人は働く場所があつて、子どもは毎日安全に学校に通うことができ、お年寄りも生きがいをもつて元気に毎日を過ごせる町であつてほしいと思います。鏡石町は、阿武隈川や釈迦堂川、中央には東北本線、国道四号線、東北自動車道が通つていて自然だけでなく、交

通にも恵まれた環境にあります。今後は人口も増えると思います。そうなるので、田畑や森、林を切り開いて住宅や大きな建物もできると思います。野生の生き物が減り、ゴミが増え、二酸化炭素が増えるでしょう。家庭排水が増え、環境が悪くなるかもしれません。このようなことを最低限に防ぐためには、住民一人一人の心がけがとても大切です。便利になつても、自然を守っていくという信念を持つて生活する必要があると思います。わたしは、自然いっぱい、お米や野菜、果物がとてもおいしい鏡石町が好きです。町の人々はみんなどうみがかよくてみんな親切です。それは、町に子ども育成会や交通安全全母の会など、地域の中で助け合う活動が行われているからだと思います。いつまでもこんな鏡石町であつてほしいと思います。町のイベントについても考えました。町では毎年、鳥見山公園であやめ祭、駅周辺でオランダ祭が行われています。鳥見山公園や駅周辺を中心として、今行われているいろいろなお祭りや合わせて、町で穫れた野菜や果物を売る市場やフリーマーケットをやつたらどうかと思います。町の特徴が出せるおもしろいフリーマーケットにすれば、町の人だけではなく、他の市町村や他県から来た人たちのふれあいにもなると思います。このようなことを実現していくのは、将来の住民、つまり子どもであるわたしたちの役目です。鏡石町のことをもっとよく知つて、ふるさとを愛する気持ちを持ち続けることが大切だと思います。いつまでも「牧場の朝の鏡石」が似合うふるさとをずっと未来に残していけるよう、がんばりたいと思います。



▲特選を受賞した柳沼結衣さん(鏡中2年)

声の聞こえる町

鏡石中学校2年 柳沼結衣

私は鏡石町が大好きです。旅行で人工物の多い都会に行つたり、キャンプで自然豊かな場所に行つたりします。初めての体験でドキドキしたり、非日常のような時間の流れを経験したりするので、旅行も大好きです。でも帰り道、車の中から鏡石町が見えると、いつも「鏡石町は、いい所だなあ。」と思います。生活するのに便利で、自然も豊かで、穏やかな印象がするからです。今のままでも十分いい町だとは思いますが、もっとよくなるようにしたいらうか、私なりに考えてみました。私は、今年の夏、町のボランティアに参加し、栄光幼稚園に行きました。小学校の時、孫見守り隊の方々にお世話になり、年長者が年少者を守るという事は素敵な事だな、と感じていました。私も小さい子どもたちのお世話をしたいと思ったのです。私は家族の中で一番年が下なの

で、小さい子と接する機会があまりありません。とてもかわいくて、小さい子が笑顔になれる、いろいろなお手伝いができてとてもうれしかったです。仕事をすると大人の人との関わりもとても勉強になりました。年齢を超えたつながりでも楽しく充実した気持ちを味わうことができました。もっとこういう年齢を超えたつながりが持てる場があればいいな、と思いました。また、私はよく町の図書館を利用します。たくさん本があり、読みたい本をいつでも借りる事ができたり、自分が興味のある本以外の本に触れ視野が広がったり、町に図書館がある事は、すばらしい事だと思います。もっと利用したくなるにはどうすればいいか考えました。図書館は本を読んだり、調べ物をしたりするので、静かな環境がいいとは思いますが、ずっと静かにしていると疲れてしまいます。ちょっと一息つくことができる喫茶店が併設されていたら、「図書館II静」というイメージが少しやわらかくなると思います。借りてすぐ帰るという場所から、普段の生活の場をはなれゆったりとした時間を過ごす場所になるかな、と思います。図書館で働いてらっしゃる方と、気軽に本の事について話したいので、色んな話をし、本の好きな人、共通の趣味がある人のつながりができたらいいな、と思います。鏡石町で行われている美化活動も町の雰囲気をよくしていると思います。その美化活動(町内一斉清掃)の時の合図に、町の歌を流したらいいなと、思います。小学校でも中学校でも合唱部があり、きれいな歌声が聞こえてきます。そのきれいな声が、町内に流れたら町の人々も笑顔になるし、町の一帯感がより深まるのではないかと思います。町の人にも歌いたいと思つてもらえたら、町民の中で歌いたい人が集まつて歌い、町の行事などで流せばより絆が深まると思います。町中で楽しい会話が弾み、皆が笑顔で歌い合える、そんな声の聞こえる町にしていきたいです。